

英語科学習指導案

日 時 平成26年11月18日(火)
授業展開 14:00～14:50
授業者 落合 朋子 教諭
授業場所 2年A組教室、多目的室
研究協議 15:00～(図書室)

——<新宿中学校 研究・研修計画>——

研究主題： 自ら学び、心豊かに生きていく生徒の育成

～基礎学力向上と言語活動の充実を目指して～

教科研究主題： コミュニケーション能力の育成を目指した指導法の工夫

英語科学習指導案

日時 平成26年11月18日(火) 5校時

展開学級 2年A組

展開場所 2年A組教室、多目的室

授業者 落合 朋子

単元名 NEW CROWN2 Lesson 5 My Dream

1 単元の目標

- (1) 将来の夢についてのスピーチをする。
- (2) 気持ちを込めてスピーチ原稿を音読する。
- (3) スピーチ原稿を書く。
- (4) スピーチを聞いて、その内容を聞き取る。
- (5) スピーチを読んで、その内容を読み取る。
- (6) 聞き手が理解しやすいよう工夫して会話している。
- (7) 不定詞(名詞用法・副詞用法・形容詞用法)に関する知識を身に付けている。

・本単元の指導に当たっての考え方

本単元は、健とエマが職業体験プログラムのことについて話をし、エマは職業体験の感想をクラスで話している場面である。将来の夢についての久美のスピーチ文を読み、それを参考にして、「私の夢」というスピーチ文を書き、みんなの前でスピーチをするという内容である。不定詞の名詞用法、副詞用法、形容詞用法により、希望や目的や理由の表現が用いられている。教科書を通して、不定詞の使い方を学び、自分が何をしたいか話す活動や、目的を達成するための手段を話したり書いたりする活動を繰り返してトレーニングしたい。自分の将来の夢ややりたいこと、その目的や理由について話したり書いたりする時に必要な表現やその使い方に関して教科書を通して学び、実際に「私の夢」というテーマのスピーチを通して、英語で自己表現する力を養う。

2 研究仮説

- (1) 基礎・基本の定着を図れば、生徒が意欲的にコミュニケーション活動に取り組むであろう。
- (2) 生徒が積極的にコミュニケーションを図ろうとする場面設定の工夫をすれば、覚えた文型を活用し、場面に応じて会話をするコミュニケーション能力が身につくだろう。

3 生徒の実態

〈省略〉

4 単元の評価規準

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
①聞き手が理解しやすいよう工夫して会話している。	①将来の夢についてスピーチをすることができる。 ②気持ちを込めてスピーチ原稿を音読することができる。 ③スピーチ原稿を書くことができる。	①スピーチを読んで、その内容を読み取ることができる。 ②スピーチを聞いて、その内容を聞き取ることができる。	①不定詞（名詞用法・副詞用法・形容詞用法）に関する知識を身に付けている。

(注) 各観点の名称については、記述の便宜上、以下の通りとする。

- ・コミュニケーションへの関心・意欲・態度：ア
- ・外国語表現の能力：イ
- ・外国語理解の能力：ウ
- ・言語や文化についての知識・理解：エ

5 指導と評価の計画（1 4 時間）

時間	○ねらい・学習活動	単元の評価規準	評価方法
1	○本単元で身に付ける技能や理解する内容を知る。 ・warm-upとして花火は好きか、見たことがあるか。お祭りは好きか等について対話する。 ・本単元で身に付ける技能や理解する内容を知る。		
	○不定詞（名詞用法）を用いた文の構造を理解する。 ・不定詞の名詞用法を用いた文の構造を知る。 ・教科書本文を通して、不定詞の名詞用法を理解する。 ・教科書本文から、希望・願望を言う時に使われる表現を探す。 ・不定詞の名詞用法の文を使えるように練習する。	エの①	後日ペーパーテスト

2	<p>○不定詞（名詞用法）を用いた文の構造を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアで教科書がすらすらと読めるようにする。 ・不定詞の名詞用法の文が聞き取れるようにする。 ・不定詞の名詞用法の文が使えるようにペアで練習する。 ・不定詞の名詞用法を用いた文が書けるようにする。 	エの①	ペーパーテスト
3	<p>○不定詞（副詞用法・形容詞用法）を用いた文の構造を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不定詞の副詞用法・形容詞用法を用いた文の構造を知る。 ・教科書本文を通して、不定詞の副詞用法・形容詞用法を理解する。 ・教科書本文から、目的・理由を言う時に使われる表現を探す。 ・不定詞の副詞用法・形容詞用法の文が使えるように練習する。 	エの①	後日ペーパーテスト
4	<p>○不定詞（副詞用法・形容詞用法）を用いた文の構造を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアで教科書がすらすらと読めるようにする。 ・不定詞の副詞用法・形容詞用法の文が使えるようにペアで練習する。 ・不定詞の副詞用法・形容詞用法を用いた文が書けるようにする。 	エの①	ペーパーテスト
5	<p>○本文のあらすじを読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書本文を読む前に、タイトルや挿絵から内容を推測する。 ・本文を黙読し、いつ、誰が、何をしたのか、大まかな内容を読み取る。 ・単語、連語の意味や発音を確認する。 	ウの①	後日ペーパーテスト
6	<p>○本文の内容を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単語、連語の意味や発音を確認する。 ・音読練習する（リピート、シャドーイング、ペア・リーディング等）。 	ウの①	後日ペーパーテスト
7	<p>○本文と別のスピーチ原稿を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書本文と同程度のスピーチ原稿を用意し、読み取る。 	ウの①	ペーパーテスト
8	<p>○スピーチを聞いて、その内容を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スピーチを聞いて、その内容を聞き取る。 ・スピーチの大まかな内容を決める。 ・ペアでお互いの夢やその理由について話し合う。 ・授業後、ワークシートを回収し、添削を行う。 	ウの②	聞き取りテスト
9	<p>○スピーチ原稿を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美穂の原稿を参考にしてスピーチ原稿を書く。 ・授業後、ワークシートを回収し、添削を行う。 	アの①	活動の観察
10	<p>○スピーチ原稿を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・完成したスピーチ原稿を書きなおす。 ・ペアやグループでスピーチの練習をする。 ・授業後、ワークシートを回収し、添削を行う。 	イの③	作文チェック

11	<p>○気持ちを込めてスピーチ原稿を音読する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・完成したスピーチ原稿を読む。 ・ペアやグループでスピーチの練習をする。 ・授業後、ワークシートを回収し、添削を行う。 	イの②	活動の観察
12 本時	<p>○将来の夢についてスピーチをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアやグループでスピーチの練習をする。 ・相互評価カードにより評価する。 	イの①	発表チェック
13	<p>○将来の夢についてスピーチをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相互評価カードにより評価する。 ・授業後にワークシートを回収し、評価・掲示をする。 	イの①	発表チェック
14	<p>○まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・確認問題（リスニング等含む） 		

6 本時の指導（第12時）

(1) 本時の目標

①自分の夢について英文を作り、スピーチの注意点を意識しながらスピーチをすることができる。

(関心・意欲、表現)

(2) 本時の展開

過程	学習内容と活動	指導上の留意点	評価
挨拶 (1分)	○英語で挨拶をする。	・明るく元気に挨拶をし、英語を学習する雰囲気を作る。	
Warm-up (4分)	○スピーチする際の注意点を確認する。 (前時でモデルスピーチの動画を見て、事前にスピーチマナーを確認する) clear voice, eyecontact, speed, posture, memorize	・スピーチマナー(clear voice, eyecontact, speed, posture, memorize)を書いたカードを用意し、黒板に貼る。	
導入 (5分)	○発表練習をする。 ○起立をして、一人でスピーチ練習する。 ○ペアでスピーチ練習する。	・机間指導をし、困っている生徒には発音等補助をする。 ・原稿を見ないで発表できるよう、原稿は裏返し、練習させる。	
展開1 (15分)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 自分の夢について英文を作り、スピーチの注意点を意識しながらスピーチをすることができる。 </div>		活動の観察 (目標①) 評価用紙で評価
	○8グループ(4人or5人)に分かれ、4グループをA班、もう片方の4グループをB班とし、A班は2年A組に残り、B班は多目的室に移動する。 ○発表は1人1分で行う。司会者、タイムキーパーを1人ずつ置く。タイムキーパーは、発表を終えた生徒が行う。評価用紙に生徒は評価とコメントを1分で記入。発表者は“How was my speech?”と聞き、聞き手はコメントを英語で一言返す。(1人合計2分30秒) ○コメントを書き終えたら、発表者に手渡す。	・時間を意識するよう、指導をする。 ・聞き手は感想や質問を必ず述べるよう伝える。 ・聞き手にはスピーチマナーについて指導する。 ・教師が机間指導をし、積極的に取り組めるよう指導する。また、コメントを書くことが困難な生徒には助言をする。 ・評価の高い生徒は、展開2で発表を行う。	

展開2 (20分)	○Aグループ、Bグループ共に2年A組に再び集まる。 ○代表生徒8名程度が前に出てきて発表。 ○聞き手は、評価用紙を1分で記入する。	・書くことが困難な生徒には助言をする。 ・教師側から聞き手の生徒へ英語で質問をし、簡単に内容を確認する。 ・積極的に取り組めるよう支援する。	
まとめ (4分)	○感想をプリントに記入する。また、展開2の発表者の中からbest speakerを1名選んで記入。次時best speakerを発表。	・活動での反省点や気づいたことを振り返ることで、次に行う活動に反省点を生かすようにさせる。	
挨拶 (1分)	○挨拶をする "Goodbye, everyone."	・活動によく取り組んだことをほめる。	

(3) 本時の評価

- ①自分の夢について英文を作り、スピーチの注意点を意識しながらスピーチをすることができたか。(関心・意欲、表現)

資料①グループの中でのスピーチ用コメントカード

Speech “My Dream” comment card

To Mr · Ms

- | | | | |
|---------------|---|---|---|
| ① clear voice | A | B | C |
| ② eye contact | A | B | C |
| ③ speed | A | B | C |
| ④ posture | A | B | C |
| ⑤ memorize | A | B | C |

comment

from _____

今日のスピーチの感想

Best Speaker _____



Speech ' My Dream '

class 2 - name _____

comment を書く時に使えるフレーズ☆

あなたのスピーチは上手でした。	Your speech was <u>good</u> . Your speech was very <u>good</u> . 他に nice/ great / wonderful もあります。
あなたの英語は聞き取りやすかったです。	Your English was easy to understand.
あなたの声は大きくはっきりしていました。	Your voice was loud and clear.
よくわかりました。	I understand well.
あなたのスピーチを聞いて感動しました。	I was moved to hear your speech.
常に聞く人の方を見ていましたね。	You always looked at the audience.

(質問をするときは…)

- Do you** ~? あなたは～しますか?
Are you ~? あなたは～ですか?
Can you ~? あなたは～できますか?
What 何
Where どこ
How long どのくらい

などを使うとよいです。

